

今後の環境・エネルギー制約の改善を図るための  
海外プラント市場拡大に向けた調査研究

(報告書の概要)

アジア諸国の中から今後の経済発展が期待されるインドネシア、インド、ベトナムの3か国を対象とし、日本に優位性があると言われる各種環境関連プラントについて、機器別国別に状況分析を行うとともに、途上国市場に対して、効果的に売り出していく方策や、主要各社の市場展開にあたっての戦略を調査し、その上で、政府の政策課題を抽出し、海外展開支援策について、包括的な政策提言に繋げる目的で調査研究を実施した。具体的には以下の調査研究を行った。

- ・本邦企業による環境・省エネ関連プラントの成約事例に見る特徴（ガスタービンコンバインドサイクル、尿素プラント、排煙脱硫装置、廃棄物処理プラント、石油精製、LNGプラント等）
- ・中国企業の急激なプレゼンス拡大など本邦企業の海外プラントビジネスにかかる問題点の抽出
- ・調査対象国における我が国企業のプレゼンス拡大の展望と課題（インドネシア、インド、ベトナム）
- ・海外エンジニアリング会社のプロフィットセンター化や投資事業の積極的な展開など我が国プラント関係業界の海外市場戦略の方向
- ・本邦企業による投資要因（地場パートナー、技術移転ニーズがある技術、資金調達ツール等）の見極め選定を迅速化する上で我が国政府機関に最も期待される課題

(報告書の主要構成)

- (1) はじめに
- (2) 調査研究の目的・実施方法・日程
- (3) 我が国環境・省エネルギープラントの技術動向
- (4) 本邦企業による省エネ・環境対策関連プラントの海外ビジネス動向
- (5) 省エネ・環境関連プラントの有力海外市場動向
- (6) 我が国関係業界の海外市場戦略の方向
- (7) 期待される政策支援措置及び提言

添付資料 「アジア市場への省エネ・環境対策プラントビジネス拡大の課題」 アンケート、同アンケート調査結果、委員会議事録・第1回及び第2回、参考図表)